

社会科部会春季研究大会報告

—「歴史総合」授業実践報告—

鎌倉高校 佐藤 靖彦

はじめに

今年度より始まった「歴史総合」は、従来の「日本史」「世界史」と異なり、両者を統合した科目として、新しい学習指導要領の大きな話題となった。地歴公民科の教員の多くは、「歴史総合」という科目が始まる前より、どのような内容になるのか、どのような授業にすればよいのか、どのような「受験問題」になるのか、と戸惑いと不安があったのではないだろうか。

「歴史総合」は、「社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育み、生徒一人一人を生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出していく」ために、「時間認識と空間認識をバランスよく総合する人材育成」を目指し、設定された科目である。

その特徴は、

- ・世界とそこにおける日本を広く相互的な視野からとらえること
- ・資料を活用しながら歴史の学び方を習得すること
- ・現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察、構想する

の3点である。このうち、「世界とそこにおける日本を広く相互的な視野からとらえる」という点が多く数の教員にとっての不安と戸惑いのポイントの一つではないかと、考える。

私自身、世界史教員として、「歴史総合」に対し、戸惑いと不安はあったものの、歴史を「日本史」と「世界史」に分けて学習するという従来のカリキュラムに対し問題意識を感じていたこともあり、歴史を総体的に捉え・学ぶ科目である「歴史総合」に対し、楽しみと期待を感じ、今年度、「歴史総合」の授業を持つことを決めた。

本報告は、春季大会時点のものであり、「歴史総合」の授業を数時間実施した段階での発表内容である。本稿では、その内容を報告するとともに、1年間を通した「歴史総合」の授業の課題等を挙げる。「歴史総合」の授業の一案として本稿を読んでいただければ幸いである。

1 本校の概要

筆者が勤務する神奈川県立鎌倉高等学校は1学年8クラスで、学期は前期・後期の二期制である。神奈川県より学力向上進学重点校エントリー校と理数教育推進校に選ばれ、高い大学進学率を維持している。そのため、授業は1時間あたり65分の授業を一日5時間行っている。

今年度の鎌倉高校では、「探究的な学びの視点を取り入れた授業実践」と「批判的思考(クリティカルシンキング)を基礎とした論理的思考を活用した授業」をテーマに取り組んだ。

生徒は学習に対する意欲が高く、基本的な学習能力も高いと感じる。特に、「暗記」の力は高く、教えられた答えや解答法を覚えることを得意としている。その一方で、物事を論理的に思考し、情報を整理・構成・表現する力は、高くないと感じる。

2 令和4年度鎌倉高校 「歴史総合」について

今年度、本校では、「歴史総合」の授業を第1学年に設置した(令和4年度の入学生は、第1学年に「歴史総合」と「公共」、第2学年に「地理総合」が置かれている)。教科書は、

山川出版社の「現代の「歴史総合」みる・読みとく・考える』を使用している。この教科書を選んだ理由としては、資料が豊富な点と他の教科書と比べ、日本史の内容と世界史の内容を総体的に記述していると感じたためである。

3 授業実践報告

今年度の「歴史総合」の授業において、最も重視したのは、「どのように日本史と世界史をつなげるのか」という事であった。そこで、大項目「近代化と私たち」では、日本史の事象から世界史の事象につなげる、というのを基本的な方針として授業をおこなった。つなげる際の方策としては「問い」を活用した。

授業の基本的な流れは、以下の通りである。

- ①歴史的な知識を理解させるために整理プリントを配付。生徒は、教科書を見ながら独力で穴埋めを行う。その後、答え合わせと簡単な解説を加える。
- ②「問い」を中心に作成されたワークプリントを配付し、個人・グループによる活動を行い、全体で共有する。

以上のように、歴史的な知識に関しては、教師がすべて教え、解説するのではなく、生徒自身が教科書から学び取ろうとする意識を持たせ、そこから疑問などを感じ取ってくれるように工夫をした。その上で、「問い」を示し、生徒から様々な考えを引き出し、共有する事で、「探究の意識」を育成しようと考えた。「問い」のパターンとしては、以下の①～④を主に用いた。

- ①「○○○と教科書に書いているけれど、具体的にどういうことか説明しよう」
- ②「△△△をすることで、何をしようとしたのか」
- ③「□□□となった要因、背景はなにか」
- ④「○○○と△△△を比較して気付いたことは」

こうした「問い」を与えながら、生徒が歴史的な見方や考え方を身に付けられるように留意した。

では、次に具体的な事例を紹介したいと思う。

今年度の「歴史総合」の授業は「近代化と私たち」から始めた。第1回目の授業では「明治維新」の授業をおこなった。ここでは、明治維新の内容を理解させるとともに、生徒に「明治維新で目指した国とはどのような国か」という「問い」を考えさせ、発表させた。これにより、「明治維新とは国民国家を目指した改革である」ことを理解させる(資料1参照)。この授業を踏まえ、第2回目の授業では、「国民国家」の授業を行った。整理プリントで世界各国の国民国家の内容を簡単に整理・解説を行い、第3回目の授業ではワークプリントを用い、「国民国家の特徴」を整理させ、「国民国家を形成するための具体的な政策」を考えさせた(資料2参照)。その中から、国民国家を形成する、または、国民国家を発展させる政策の1つとして産業革命をテーマに次の授業へとつなげていく。

日本史と世界史をつなげる方法として意識したのは、①「個別の事象→テーマとなる概念」を生徒に捉え・考えさせる手法と②「テーマとなる概念→個別の事象」を生徒に捉え・考えさせる手法のいずれかを意識した。上記にあげた「国民国家」の場合は、①の手法を用いることで、生徒に日本史と世界史を総体的に捉えてもらおうと意識した。②の手法は、春季大会後の「大衆化と私たち」の授業で用いた。「大衆の政治参加」「大衆消費社会」が各国においてどのような事象として現れたのか、そこから、「大衆」を再定義する授業を行った。

このような「歴史総合」の授業を通して育成したい生徒像は以下の通りである。

- ・「想像力」を働かせられる生徒
- ・物事をつなげて考えられる生徒
- ・課題や問題の解決に粘り強く取り組める生徒
- ・学問の「楽しさ」を味わえる生徒

私は、上記のような人物が、これからの「厳しい挑戦の時代」を切り開ける人物になると信じている。「歴史総合」を通し、こうした人物を育成できることを目標にこれからも授業づくりに励みたいと思う。

おわりに

「歴史総合」が始まって1年が経とうとしている。本稿のおわりにあたり、1年間通して感じた「歴史総合」の反省や課題を述べていきたい。

今年度の「歴史総合」の授業の一番の反省点としては、「生徒自身が問いを立てる」という活動に時間をかけて取り組めなかったことがある。今年度から始まった学習指導要領において「探究的な学び」が大きな柱であり、「歴史総合」においても「生徒自身が問いを立て、それを探究する」というのが大きな特徴である。しかし、今年度の授業では「日本史と世界史をつなげる」という点に注力したため、生徒自身がどのように「問い」を立て、その「問い」の変化や探究活動に向けた授業が出来なかったことが大きな反省である。「問い」を立てる活動とその「問い」を探究する活動を、年間の授業の中でどのような機会で行うのか、を次に「歴史総合」を指導する際のテーマとしたい。

課題として感じたのは、大学受験問題と授業の内容の兼ね合いである。「歴史総合」は共通テストにおいて、歴史科目の必修として出題されることになっている。大学進学を考える生徒からすると「歴史総合」は「受験科目」であり、「いかに点がとれるのか」が重要となってくる。その際、問題となるのは生徒が初めて触れる歴史事項の内容であろう。特に、世界史分野の内容は、生徒が初めて学ぶ内容も多く、その内容をどのように理解させるのか、という点が1年間を通しての課題と感じた。今年度は、教科書を読みながら整理プリントに穴埋めをする、という手法をもちいたが、それでも、しっかりと解説をしなければならない内容が多々あり、グループワーク活動に十分な時間が取れないこともあった。「探究的な学び」と「大学受験対策」をいかに両立させていくのか、というのは特に大学進学希望者が多い学校では、大きな課題となるのではないだろうか。そのためにも、生徒の観察が今まで以上に必要となるであろう。

資料 1

歴史総合ワークプリント No.1

1年 組 氏名 _____

明治維新

教 P48～53

①日本の近代化＝明治維新

明治維新までの流れ：1854 日米和親条約 1858 日米修好通商条約 1866 薩長同盟
1867.10 月大政奉還 1867.12 月王政復古のクーデタ

ワーク1:グループ内で分担し、上の出来事から一つ語句を選び、その説明文を書いてみよう。

○選んだ語句： _____

○説明文： _____

グループ内共有メモ

②「明治維新」の内容

ワーク2:明治維新の内容を下の分類に従って書き出し、整理してみよう。(教 P50～53 を参照)

ア)政治体制：

イ)身分制度：

ウ)軍制：

エ)税制：

オ)文化・社会風習：

カ)教育：

③**ワーク3:**「明治維新」で目指した国とはどのような国？ワーク2で書き出した内容を分析して、考えを書いてみよう。

あなたの考え

グループで出た考え

明治維新で目指した国＝★「 _____ 」

資料 2

歴史総合ワークプリント No2

1年 組 氏名 _____

国民国家

教 P45～47

①以下の「問い」の答えを教科書から抜き出して、書いてみよう。

ア) 国民国家とは？ : _____

イ) 国民とは？ : _____

ウ) 国民を誕生させるためには？
: _____

エ) 整理プリントの①～⑦(⑤を除く)の国が国民国家を創ろうとした理由は？
: _____

②「国民国家」が目指す「国のかたち」を考えてみよう

ア) 「言語、時間、空間の単位、ライフスタイル、心性の均質化」とは、何か？説明してみよう。

個人

グループ

イ) 何のために、様々なものや事を「均質化」するのか？「均質化」にはどのような「効果」があるのか？

個人

グループ

ウ) 「均質化」するために、国民国家の政府は**具体的にどのような政策**をすればいいのだろうか？理由も一緒に説明してみよう。2つ書いてみよう。

個人

グループ